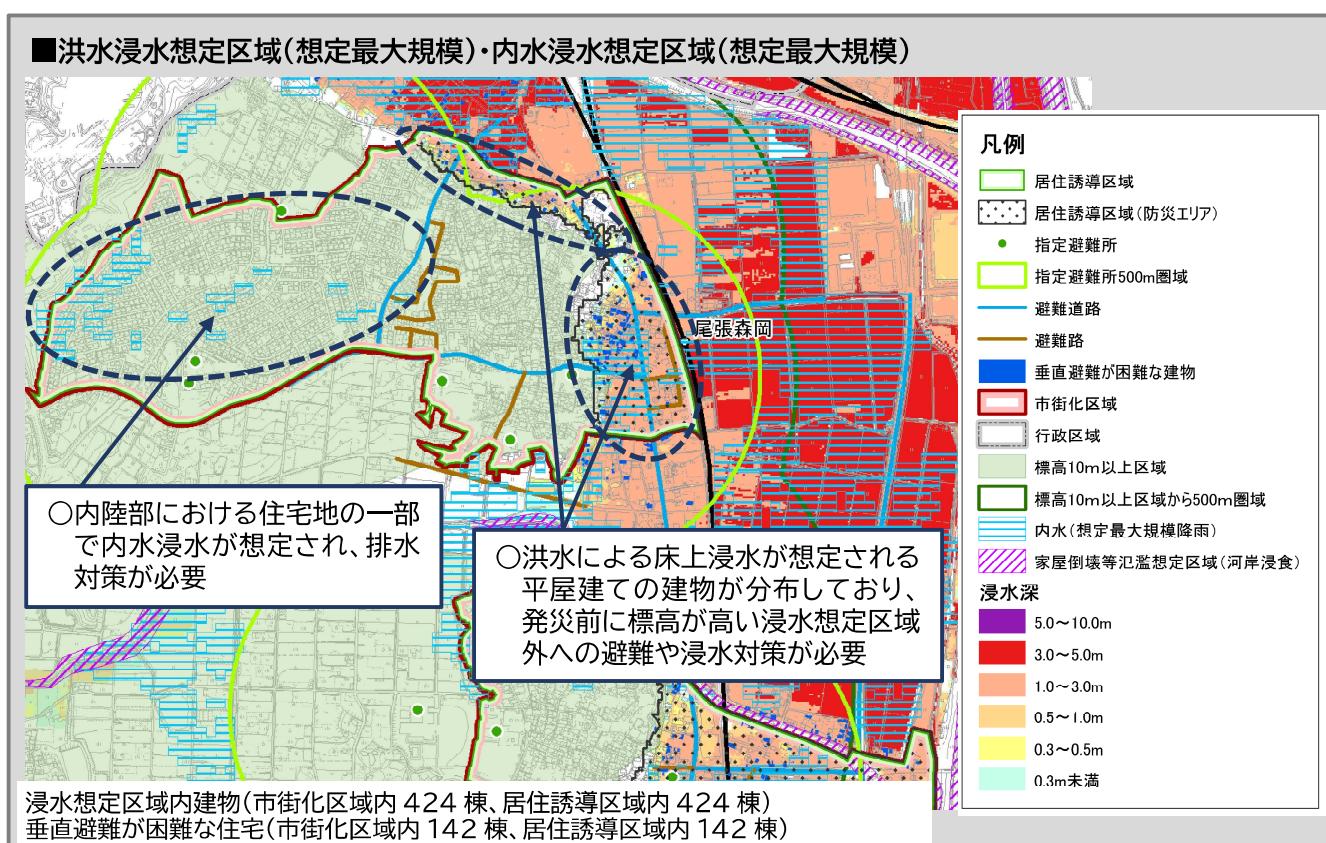
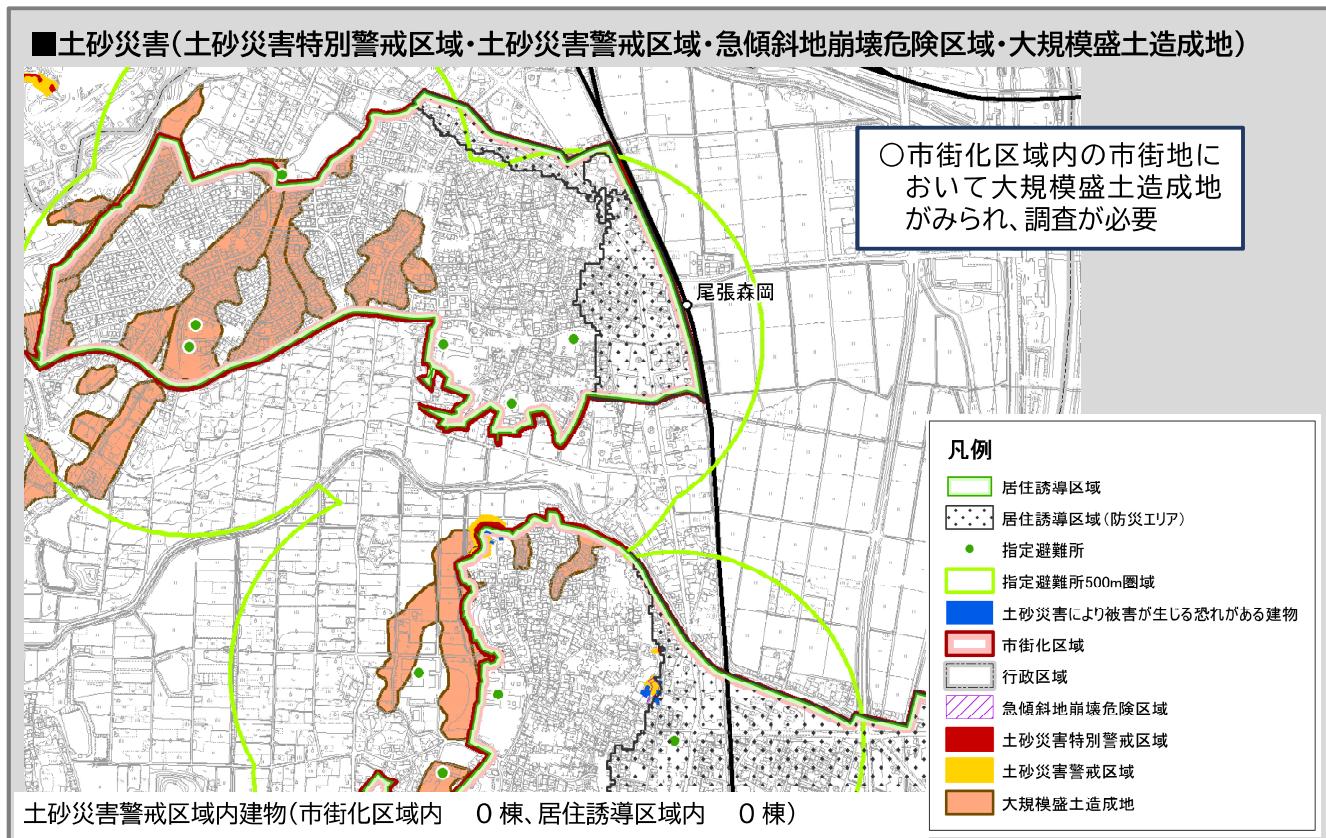


(3) 地域ごとの防災上の課題の整理

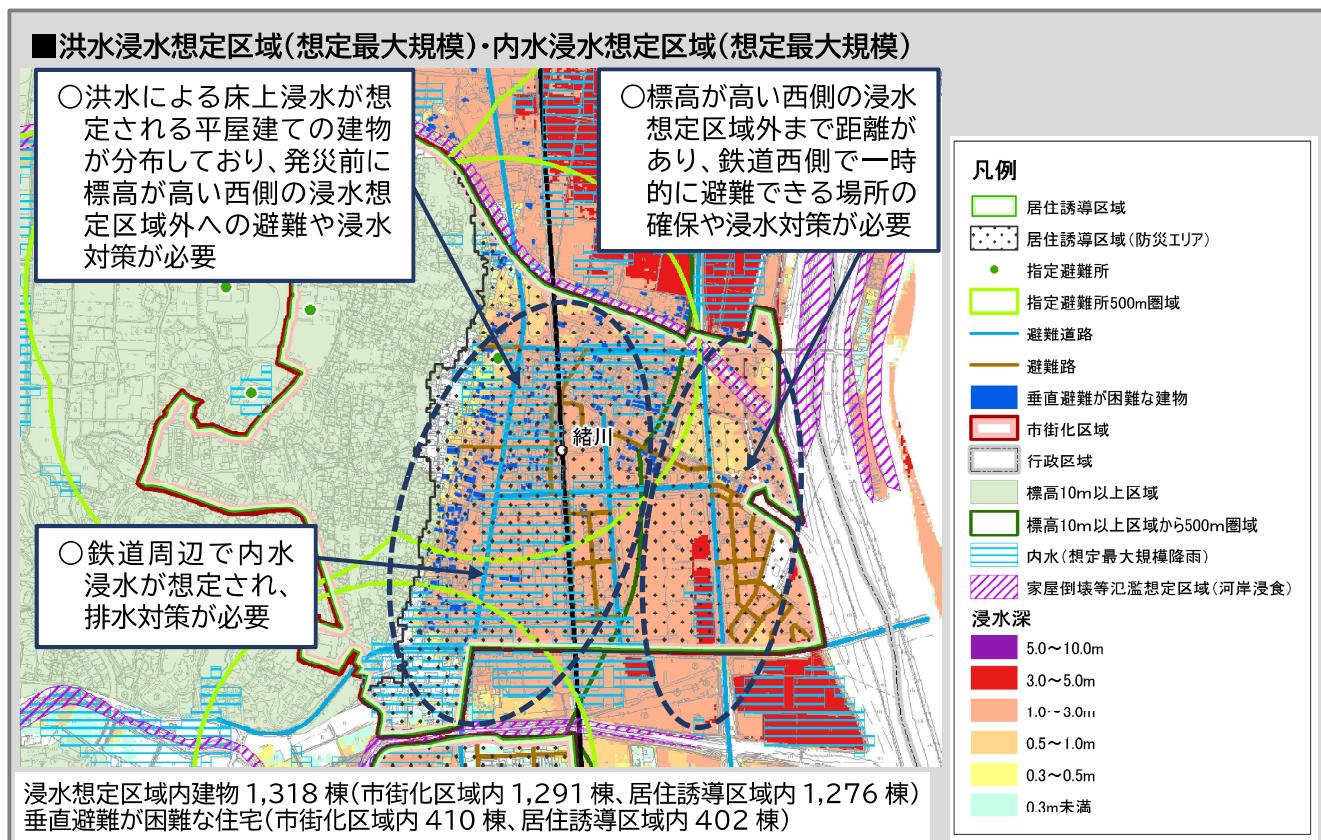
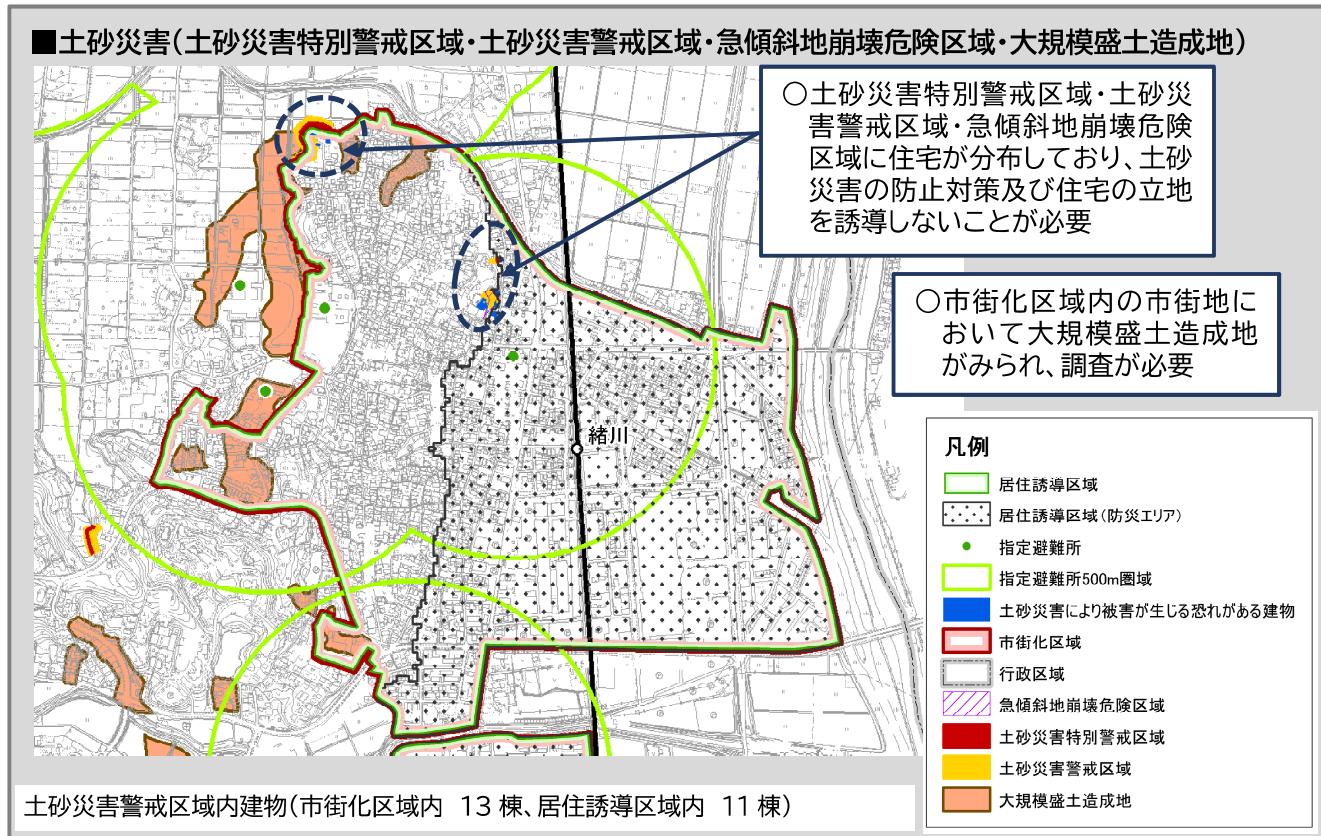
① 尾張森岡駅周辺

尾張森岡駅周辺の市街化区域では土砂災害が想定されている地区はみられません。一方、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に洪水、高潮の浸水深が高い傾向にあります。



② 緒川駅周辺

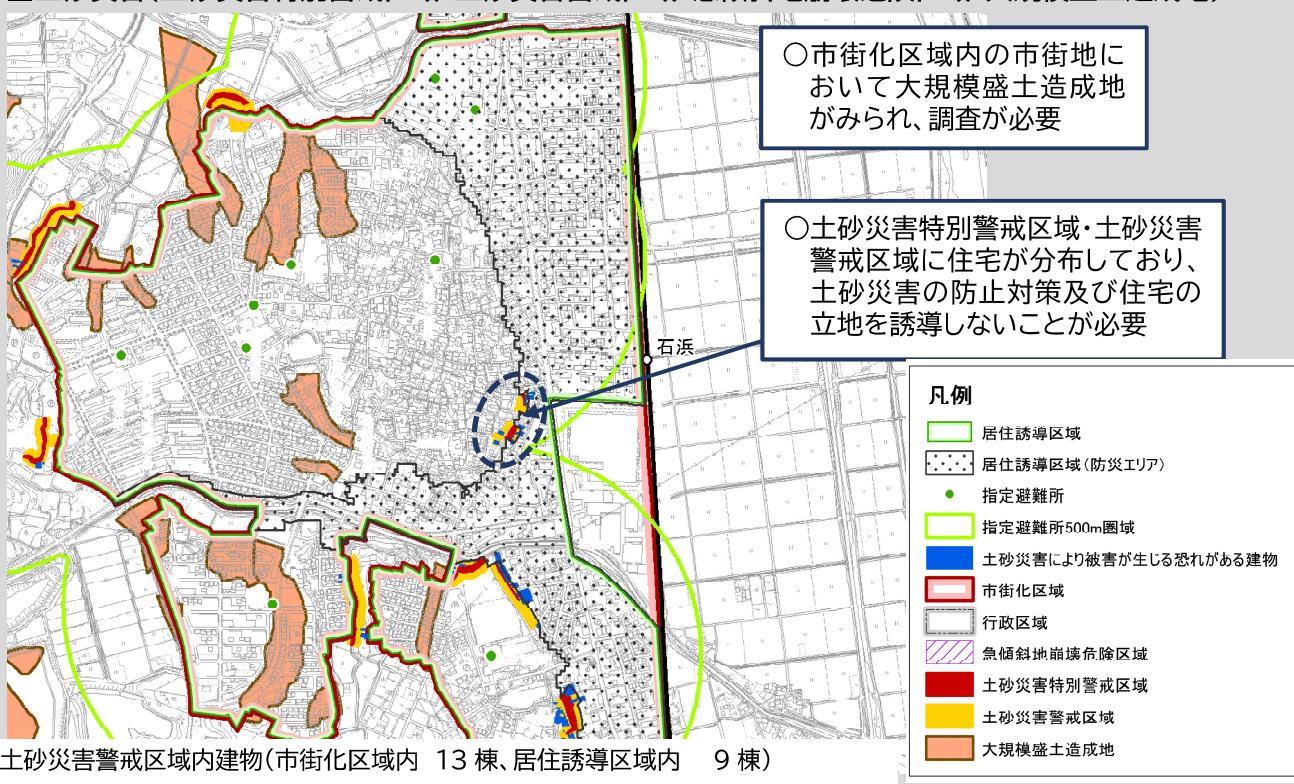
緒川駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害が想定されている地域があり、住宅の立地もみられます。また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に洪水、高潮の浸水深が高い傾向にあります。



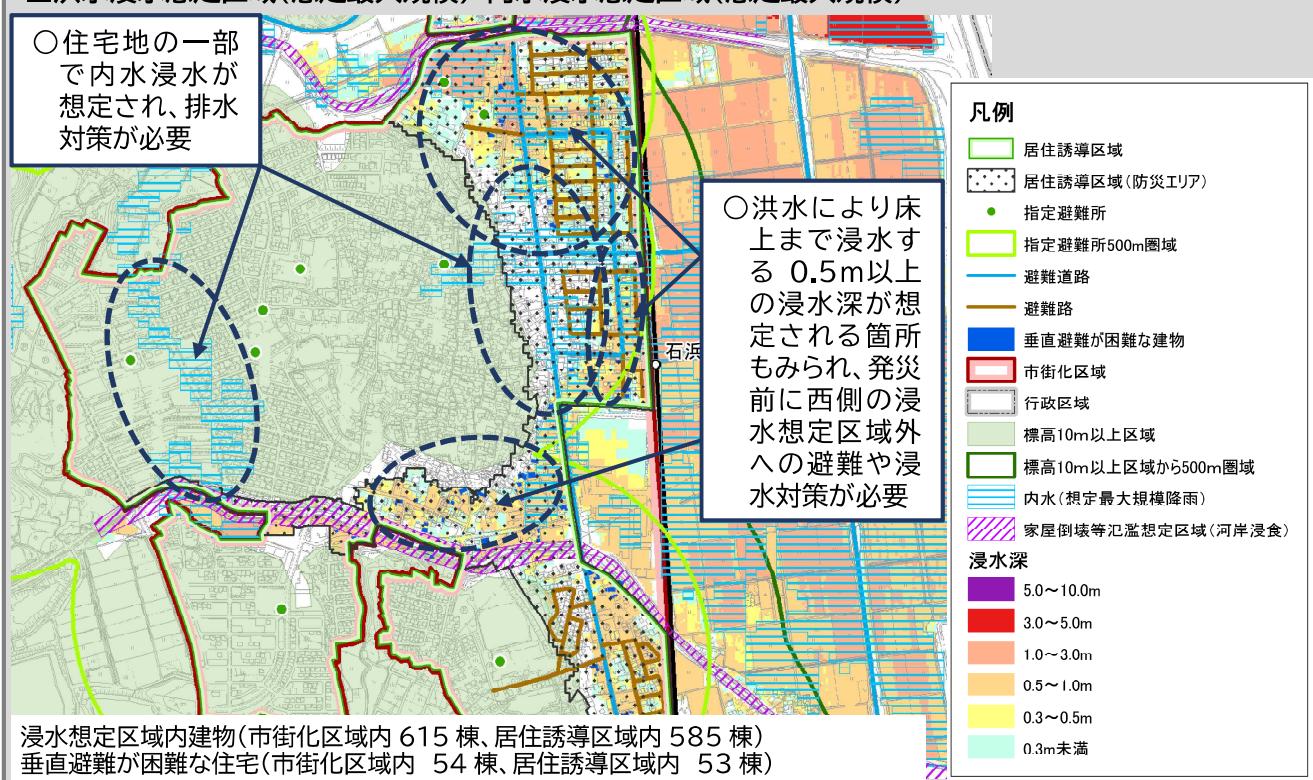
③ 石浜駅周辺

石浜駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害が想定されている地域があり、住宅の立地もみられます。また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に高潮の浸水深が高い傾向にあります。さらに、ため池浸水想定区域も一部でみられます。

■土砂災害(土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域・大規模盛土造成地)

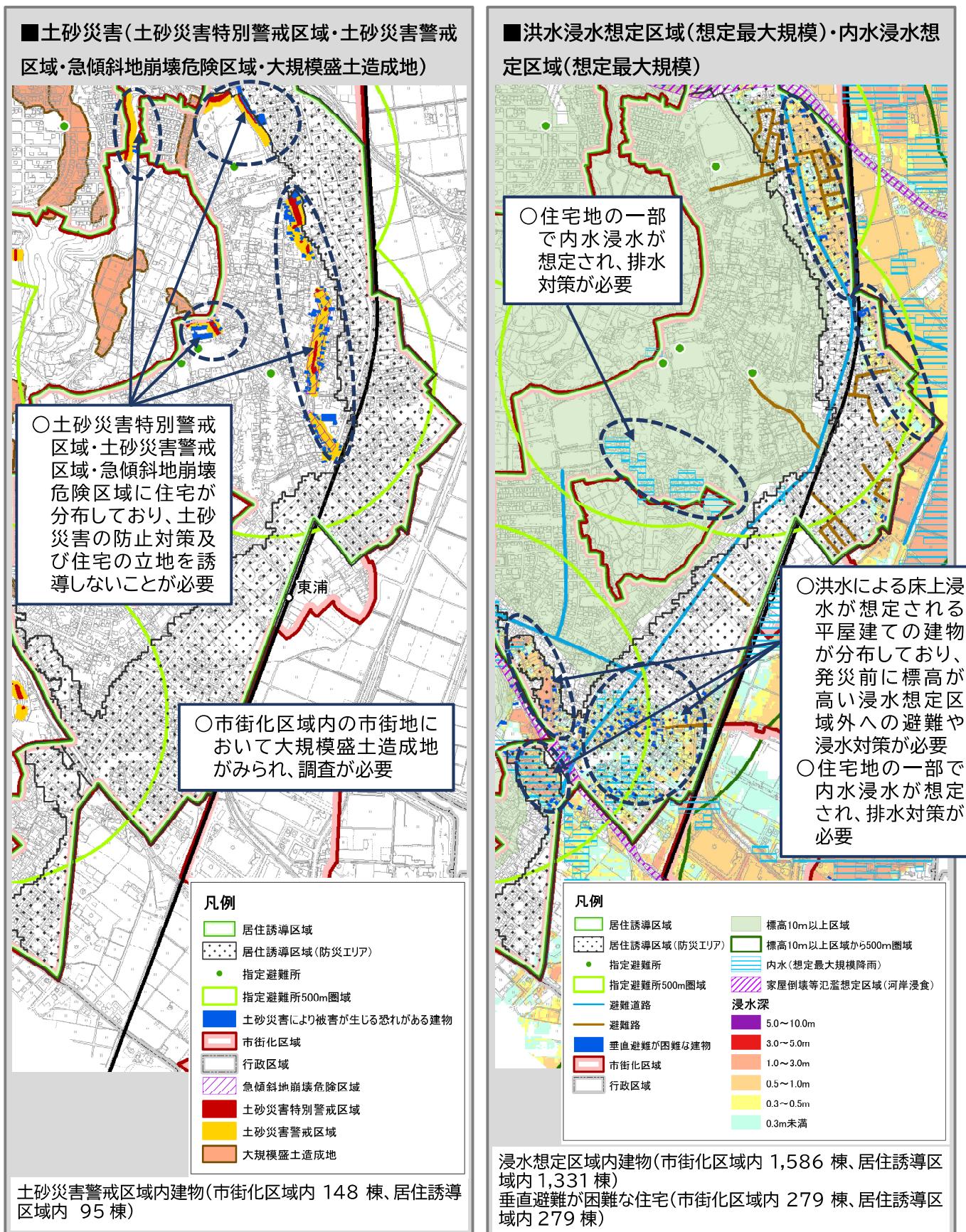


■洪水浸水想定区域(想定最大規模)・内水浸水想定区域(想定最大規模)



④ 東浦駅周辺

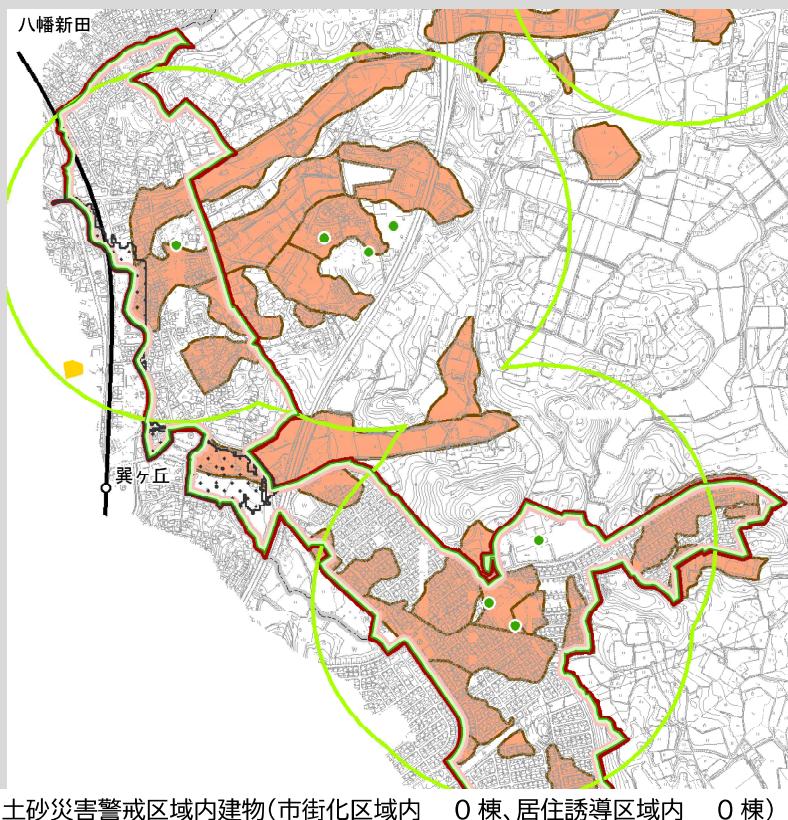
東浦駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害が想定されている地域があり、住宅の立地もみられます。また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に高潮の浸水深が高い傾向にあります。さらに、ため池浸水想定区域も一部でみられます。



⑤ 翼ヶ丘駅周辺

翼ヶ丘駅周辺の市街化区域では土砂災害及び高潮浸水が想定されている地区はみられません。一方、洪水による浸水が一部で想定されるとともに、ため池浸水想定区域もみられます。

■土砂災害(土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域・大規模盛土造成地)

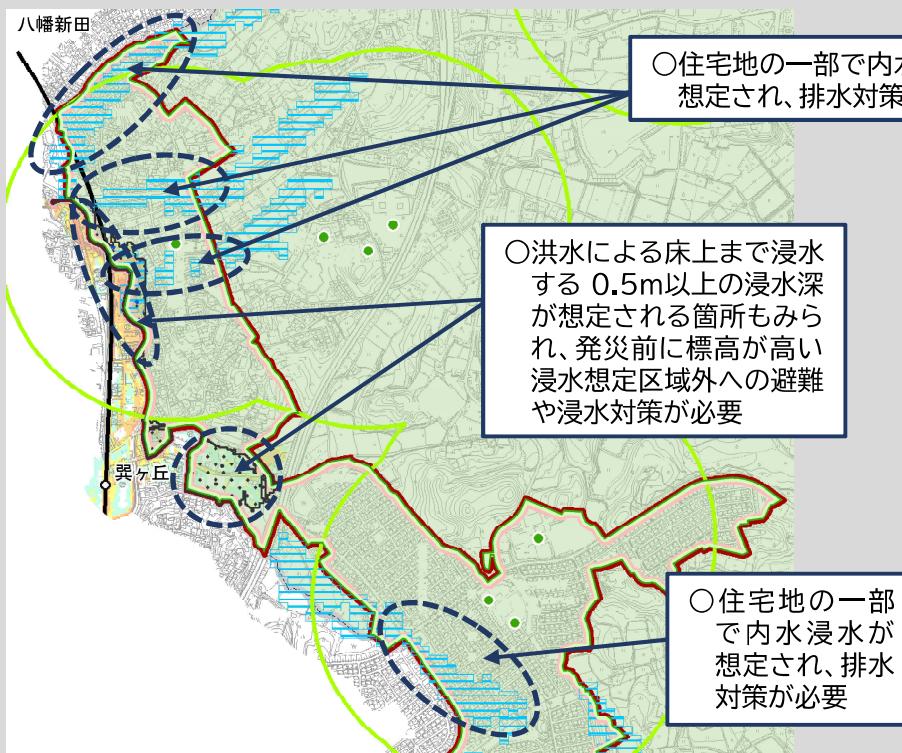


○市街化区域内の市街地において大規模盛土造成地がみられ、調査が必要

凡例

居住誘導区域
居住誘導区域 (防災エリア)
指定避難所
指定避難所500m圏域
土砂災害により被害が生じる恐れがある建物
市街化区域
行政区域
急傾斜地崩壊危険区域
土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域
大規模盛土造成地

■洪水浸水想定区域(想定最大規模)・内水浸水想定区域(想定最大規模)



○住宅地の一部で内水浸水が想定され、排水対策が必要

○洪水による床上まで浸水する0.5m以上の浸水深が想定される箇所もみられ、発災前に標高が高い浸水想定区域外への避難や浸水対策が必要

○住宅地の一部で内水浸水が想定され、排水対策が必要

凡例

居住誘導区域
居住誘導区域 (防災エリア)
指定避難所
指定避難所500m圏域
避難道路
避難路
垂直避難が困難な建物
市街化区域
行政区域
標高10m以上区域
標高10m以上区域から500m圏域
内水(想定最大規模降雨)
家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)
浸水深
5.0~10.0m
3.0~5.0m
1.0~3.0m
0.5~1.0m
0.3~0.5m
0.3m未満

7-2 防災まちづくり取組方針の検討

(1) 防災まちづくりの考え方の整理

- 土砂災害が想定されている地区については、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあり、一部で住宅が立地していることを踏まえ、居住誘導区域から除外することとしました。こうした考え方と整合し、住宅の立地を誘導しません。
- 水害（洪水、津波、高潮等）については、市街化区域の住宅地において顕著な人口密度の低下が想定される地区は見られないため、現在のコンパクトな市街地を継続していく必要があることから、浸水が想定される地域であっても居住誘導区域とし、今後も一定以上の人口集積を図っていきます。**ただし、防災エリアに位置づけることで、必要な避難対策を講じていくとともに、災害ハザードの情報提供の更なる充実を図り、復興対策を含む事前の防災まちづくりを進めていきます。**
- こうした居住誘導区域（防災エリア）に位置づけた地域においては、どの程度の浸水が生じるかを事前に判断することは難しく、想定最大規模の災害はいつでも起こりうることを踏まえ、想定最大規模等のL2の想定を基に関係機関、庁内各課が連携して取組を検討することとします。
- 一方、ハード対策については、想定最大規模等のL2への対応は莫大な費用と期間を要するため現実的ではなく、これまでどおり計画規模の想定に基づいたハード対策を国や県とも協力しながら順次進めています。

(2) 取組方針

- 災害時に被害が発生しないようにする（回避する）「災害リスクの回避」、ハード対策やソフト対策による「災害リスクの低減」の考え方により、本町における取組方針を整理します。
- 災害ハザードが想定されている**居住誘導区域（防災エリア）**については、防災施設整備等によるハード対策、災害リスクの周知や避難対策・事前の防災まちづくり（復興対策を含む）等によるソフト対策の両面から災害リスクの低減を図ります。

取組方針	土砂災害	水災害
災害リスクの回避	<ul style="list-style-type: none"> ○土地利用の誘導 ○居住誘導区域からの除外 	—
災害リスクの低減 (ハード)	<ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害を防止する施設の整備 ○避難施設の確保 ○道路ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○河川・海岸堤防等のハード対策[L1] ○排水対策[L1・L2] ○ため池の耐震化 ○避難施設の確保[L1・L2] ○道路ネットワークの構築[L1・L2]
災害リスクの低減 (ソフト)	<ul style="list-style-type: none"> ○災害リスクの周知[L1・L2] ○避難対策・事前の防災まちづくり[L1・L2] 	

■地区別の取組方針

土砂災害が想定される地区

土砂

【災害リスクの回避】

- 土地利用の誘導
- 居住誘導区域から除外
- 【災害リスクの低減（ハード）】
- 土砂災害を防止する施設の整備
- 避難施設の確保
- 道路ネットワークの構築
- 【災害リスクの低減（ソフト）】
- 災害リスクの周知
- 避難対策

尾張森岡駅周辺

洪水・内水・ため池・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- 排水対策
- ため池の耐震化
- 避難施設の確保
- 道路ネットワークの構築
- 【災害リスクの低減（ソフト）】
- 災害リスクの周知
- 避難対策

緒川駅周辺

洪水・内水・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- 排水対策
- 避難施設の確保
- 道路ネットワークの構築
- 【災害リスクの低減（ソフト）】
- 災害リスクの周知
- 避難対策

翼ヶ丘駅周辺

洪水・内水・ため池

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川堤防の整備
- 排水対策
- ため池の耐震化
- 避難施設の確保
- 道路ネットワークの構築
- 【災害リスクの低減（ソフト）】
- 災害リスクの周知
- 避難対策

石浜駅周辺

石浜駅周辺

洪水・内水・津波・ため池・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- 排水対策
- ため池の耐震化
- 避難施設の確保
- 道路ネットワークの構築
- 【災害リスクの低減（ソフト）】
- 災害リスクの周知
- 避難対策

東浦駅周辺【鉄道西側】

洪水・内水・津波・ため池・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

東浦駅周辺【鉄道東側】

洪水・ため池・津波・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- ため池の耐震化
- 避難施設の確保
- 道路ネットワークの構築
- 【災害リスクの低減（ソフト）】
- 災害リスクの周知
- 避難対策

凡例

 市街化区域

 行政区域

 洪水浸水想定区域（想定最大規模）

 ため池浸水想定区域

 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）

 津波災害警戒区域

 高潮浸水想定区域（室戸台風級）